



令和7年11月17日
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

令和6年度全建賞を受賞

都市計画道路 鮎川停車場線 整備事業

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）が設計に関わった「都市計画道路 鮎川停車場線 整備事業」が、一般社団法人全日本建設技術協会の令和6年度全建賞を受賞いたしました。

都市計画道路鮎川停車場線は、日立市の国道6号と国道245号を東西方向に結ぶ幹線道路であり、本事業によりJR常磐線で分断されていた地域の人流や物流の円滑化や、市内で慢性的に発生している交通渋滞の緩和につながるほか、緊急輸送道路網が強化され、県北地域の防災機能強化にも大きく寄与するものと期待されます。

当社は、本事業における都市計画道路の街路整備設計として、道路・交差点・仮設道路、箱型函渠・U型擁壁、アンカーワーク・土留工、推進工法に伴う排水検討、高圧受配電・排水設備・トンネル照明設備の設計を行いました。

対象地の中間部にはJRが施工する活線下の非開削ボックスがあり、このためのJRの施工ヤード、非開削ボックスとの構造的な取り合い、施工順序などについてJRとの綿密な調整を行い、全体の施工計画では、特に施工順序等を踏まえ、資機材の搬入搬出など、掘削区間のヤード内における作業展開を考慮した重機の配置等を検討し、円滑な全体事業スケジュールを立案しました。

また、道路本線の排水を自然流下方式で二級河川桜川へ排水するため、排水路整備に長距離推進工法を採用し、鉄筋コンクリート擁壁構造の吐口を提案しました。

工事進捗に伴い、近接する中圧ガス管への影響を抑えるため地盤改良を提案し、ガス管理者との協議に必要な検討を行い、ライフサイクルコストの観点から舗装構成の見直し提案による変更設計を行いました。

全建賞とは

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年（1953年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

<https://www.zenken.com/hypusyou/hyousyou.html>

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・日原・丸山・門司

令和6年度全建賞（東日本枠 都市部門）

- 事業名：都市計画道路 鮎川停車場線 整備事業
- 受賞機関：茨城県 高萩工事事務所
- 賛助会員：(株)オカベ、(株)オリエンタルコンサルタンツ、鈴縫工業(株)、日立土木(株)、小林建設(株)、田岡建設(株)、(株)高萩エンジニアリング

□ 事業概要と評価

東日本大震災時の津波により道路網が寸断する被害を受けたことから、沿岸部から内陸部への避難路の確保及び緊急輸送道路となる鮎川停車場線を整備。JR常磐線を挟んで南北に走る国道6号と国道245号を東西で接続し、鉄道への影響を最小限に抑制するためHEP&JES工法を採用。アンダーパス構造のため、冠水対策として、道路本線の排水路起点管底高より流出先の河床高が低い二級河川桜川まで、自然流下方式で排水路を整備。輻輳する施工管理や騒音・振動対策に対応し、鉄道利用者への影響を抑えた施工方法を採用している点が評価された。

